



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ネットスケープ モジラプロジェクト(A)

5 “われわれは昨年、私が達成しようと思っていた目標を達成できなかった。モジラプロジェクトを、ネットスケープ社が数ある協力者の中の1つに過ぎないような、ネットワークによる共同プロジェクトにしなかった。さらに、エンドユーザー向けのソフトの出荷もしなかった。私にとって出荷は非常に重要だ。だから私はこのプロジェクトから手を引く”

10 1999年4月、ネットスケープコミュニケーションズ社の創業メンバーのひとりで、優秀な技術リーダーであったジェレミー・ザウインスキー(Jamie Zawinski)氏は自らが率いてきたモジラプロジェクト(Mozilla Project)の1年間の評価をこう語り、AOL・ネットスケープ社を退社する決意を表明した。1998年のプロジェクト開始当初、市場を制覇しつつあるマイクロソフト社のインターネット 익스プローラー 巻き返しのためにネットスケープ社がう

15 ったモジラプロジェクトは、ソフトウェア会社にとって最も重要な知的財産である製品ソースコードを外部、それもボランティアな開発者コミュニティに公開するという、ブラウザ製品開発にとって起死回生の最終手段として業界中の注目を浴びていた。だが、実際にはプロジェクト開始後1年がたっても、成果物としてのソフトウェアが一向に出荷される見通しはたっていないかった。

20

WWW とネットスケープ社

インターネットに火をつけたふたつのキラーアプリケーションは、電子メールと

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールの浅川和宏教授の指導の下、慶應義塾大学ビジネス・スクールMBA学生(M26)の佐藤恭平が公開資料に基づき作成したものである。当ケースはクラス討議の資料として作成され、経営管理上の適否を例示するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp)。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送は、これを禁ずる。

Copyright©2004 は浅川和宏、佐藤恭平が保有する。